

令和3年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和3年7月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和3年7月16日（木）10：30～12：35

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

○松林校長より

職業実践認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていきたい。

今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和3年度第1回自己評価委員会報告

令和3年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和3年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営の4項目・教育活動の6項目・学修成果の3項目
学生支援5項目・教育環境の3項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等の遵守2項目・社会貢献1項目に
ついて、評価4について継続的に向上した部分を報告。

評価4を今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。
今年度はより一層、生徒募集に力を入れてほしい。

（基準1） **総括** 美容科は職業実践専門課程の認定校として、産学連携の授業内容により実践的な、卒業後即役に立つ技術を習得できるカリキュラム編成となった。ビューティビジネス科もブライダルの専門知識を学ぶ授業を組み入れることにより幅広いビューティビジネス業界で活躍できるカリキュラムとなった。

- ・美容師、エステティシャンとしての技術の向上をはかり、優秀な生徒の育成をはかる。
- ・学校と業界が共同し、現場により即した技術を生徒に学ばせるため、産学連携を計る。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。2学年ではより深くまで習得できるようにアップセット・ネイル・メイク・ブライダル・カットのうち2課目の選択をして授業を行った。
- ・ビューティビジネス科でブライダルに特化した技術習得カリキュラムを導入している。
- ・人材育成のために教育の方針をより具体化し、笑顔・挨拶・感謝の気持ちをもち、「おもてなしの心」で丁寧な接客できるような生徒を育てていく。
- ・「あなたが誰かの夢になる」キャッチコピーを掲げ、職業人として社会・業界に貢献できる心豊かな人材の育成を進めている。
- ・個々の目標設定のコーチングをしながら、得意分野を極めていけるよう指導している。「整理整頓・挨拶・礼儀」を重点目標として指導している。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・仮校舎のため、シャンプー実習について心配をしていたが、学校支援サロンとの連携をしっかりとし問題なく実施できているとのこと。安心した。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・生徒たちの目標設定について、お客様に笑顔やコンプレックスを解消できる存在になりたいと思ってもらいたい。

今後の改善方策

- ・就職部のサポート体制が整ってきているので、信頼している。引き続き、連携していく。
- ・卒業後のキャリアプランまで構築できるよう指導していく。

(基準2) **総括** 第8次5か年計画(令和2年～6年)を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機管理体制、施設設備の充実を行う。

- ・令和4年3月新校舎完成に向けて建築事業を進めていく。
- ・令和3年1月ビューティビジネス科教員を1名採用。
- ・Instagramなどを活用し、学校の情報提供をするなどウェブサイトの充実を図っている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・予定通り進行しているのか。→新校舎改築に向けて、地鎮祭も無事終わり、本格的に着工し始める。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ハードスケジュールだが、教育機関であるので計画通り進行できるよう、頑張ってもらいたい。

(基準3) **総括** 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。

コロナ禍であるため、教育活動において、学びの場を止めることの無いように、一人一人の生徒の状況に対応しながら進めていく。

- ・到達目標を明確にし、成績分布表や誤答率などで生徒一人一人が自分自身の分析をして改善していく方向に促す。
- ・2学年選択授業にカットとブライダルを取り入れた。選択ネイルにおいてはJNAの認定校となり、ジェルネイル検定を取り入れた。
- ・美容のトレンドやニーズに合わせ、生徒の授業への関心度や理解度を見ながらカリキュラムや講師陣の依頼を検討していきたい。
- ・シラバス作成においては、担当外部講師と担当職員で検討し、教務主任、校長へと繋げて教育課程編成委員会で検討しながら決定している。目標達成値は担当外部講師と担当職員で検討し、シラバスと共に生徒へあらかじめ周知している。各教科の到達目標に向けて適正な時期にカリキュラムを組んでいる。
- ・感染対策を取りつつ、可能な限り行事やイベント、研修会を行う。
- ・数か月、数週間で新卒生がリタイヤしている。在校中に指導しておくべき内容を精査する。
- ・学園研修では幅広い観点における研修を行っている。時代に沿った、カリキュラム内容を検討しつつ、教職員のスキルアップのための講習を行っている。
- ・指導力向上に向けて必要に応じて研究会を開き、非常勤講師との連絡を密に取り合い、適切に授業を行う。
- ・職員研修のための講習会を実施している。新しい技術にも対応して研修を行い、これからの美容業界のニーズに合ったものかを検討し取り入れていく。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・就職後の早い時期での退職の理由が気になる。サロン選びをきちんとしていかなければ、生徒の考えをきちんと把握し、就職先を見極めていってほしい。
- ・生徒の質・希望を把握しなくてはならない。
- ・業界自体が、新人教育の難しさを感じているが、より一層美容業界の将来を考え憧れられるようにしていく。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・夢を描けない・目標設定が出来ない生徒が多いように感じる。また、人を育てられるサロンが少ないのも現状である。条件のみで選ぶのではなく、情報収集をしっかりとすることが重要では。

今後の改善方策

- ・就職内定率100%にとらわれすぎずに、キャリアプランをきちんと考えさせ、自分たちでしっかりと調べさせ、考えさせる指導をしていく。

(基準4) **総括** 入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

- ・令和3年6月に行ったサービス接客検定の合格率84%。
- ・国家試験、エステ認定試験以外の各種検定の合格率も学校全体として把握し、高めあっていく。
- ・退学、休学理由としては家庭環境、人間関係、進路変更などのほか、精神不安な生徒も増えてきている。一人一人に対する生活指導が重要である。
- ・今年度は休学者2学年1名、退学者2名。1学年休学者2名、退学者1名。併せて休学者3名、退学者3名となった。生徒への学習意欲を駆り立て、個々に合わせた指導と、教員の連携を行ったが、日常生活における精神的不安定や、金銭面からなる目標の揺らぎなど様々な要因である。生活指導と目標を見失わないような、魅力的なカリキュラムを取り入れ、社会人としてのたくましさを育てる教育をしていく。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・スクールカウンセラーの効果は？
→良い効果が出ている。話を聞いてもらえる事ですっきり出来ている様子である。
- ・精神不安定・家庭環境の難しい生徒が多く大変だと思うが、カウンセリングを上手く活用して欲しい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・大変な時代であるが、家庭環境の大切さを伝えながら、心から鍛えてあげることが必要では。そのためにカウンセリングは必要である。
- ・個性も大切である。美容学校で見つけてあげること。そのために、先生自身がプライドを持つことが必要では。生徒との出会いを大切にしたい。
- ・将来的には、精神科医が必要になってくるのでは。

今後の改善方策

- ・難しい家庭環境の学生も増えてきているため、今後も引き続き、スクールカウンセラーとの連携をとり、サポート体制を強化していく。

(基準5) **総括** 新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。

- ・修学支援給付金の周知を行った。対象者 1年生10名 2学年6名
- ・長野県からの感染防止マニュアルを基に、本校での感染防止マニュアルを作成し、毎日の健康観察と新しい生活様式を徹底した。
- ・感染の疑いがある生徒に対して、担任や学年からのオンデマンド授業や課題作成を行うよう指示を出し、学びの場を止めることなく実施できている。また、体調確認や意識調査などにより、早めの対応を行うことができた。
- ・コンテストに関わることにより、忍耐力や研究心が育まれるため、沢山の学生にチャレンジさせていきたい。様々なコンテストの情報を提供し、チャレンジしていく気持ちを育てていきたい。
- ・引き続きナガノコレクションへの参加
- ・NHKヘアメイク職場体験に、美容科・ビューティビジネス科共に参加
- ・可能な限り、ビューティビジネス科のビューティイベント、来校実習など外部の方の意見をいただき今後につなげる。
- ・新型コロナウイルス影響により、1回目・2回目ともに、就職ガイダンスは県内サロンのみ実施。
- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう準備し、実施。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・コロナと上手くつきあいながら、就職活動を行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・オリンピック後のコロナ感染拡大が心配である。今後より一層気を引き締めて、頑張ってもらいたい。

(基準6) **総括** 金融や保健、法律などの職種の社会人と共に、ビル内で過ごしていく中、配慮しながら気持ちよく過ごす工夫を行う。特に挨拶、礼儀、整理整頓と共に、落ち着いた学びの環境にすることで社会人としての振る舞いも身に付けさせたい。

学びを深めると共に、美容の職業により幸せのお手伝いができるという体験を可能な限り実施していく。仮校舎では実施が難しい技術は、サロンのご協力により実施していく。

- ・感染対策の中でも、学びが深まるよう、電気機器や通信機器を使用する。
- ・修繕や清掃などはビルの管理で行っていただいているが、使用後の清掃は生徒が行っている。
- ・清掃する方の事を考え、使用するという気遣いができてきている。
- ・実務実習の回数を増やし、シャンプー技術など、サロンにてご指導いただいている。
- ・昨年度に引き続き、オクレンジャーに登録。感染防止対策の他、防災についての連絡を行っている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・学校支援サロンにて、シャンプー実習を校外実施してみてどうだったか？
→1年生については早すぎるという指摘もあったが、全体的には良い経験になった。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・シャンプー実習については、サロンと生徒にとって良い機会になったのでは。
シャンプー技術は今後も大事な部分であるので、継続していても良いのでは。

今後の改善方策

- ・今年度は仮校舎での生活であるが、技術面等において不足のないよう在校生満足度に重点をおき、指導していきたい。

(基準7) **総括**：今年度はより一層、生徒募集が厳しくなるため、力を入れていく。

- ・学園HPの充実の一環として、明確な学校の情報を配信するため、インスタグラムを実施している。
- ・インスタグラムは以前より増えているが、より魅力的に発信できるようにしていきたい。
- ・学園専用のiPadを購入。高校生と直接情報を交換できるLINE@を開始した。
- ・在校生の満足度を上げ、卒業生の活躍や、美容業界の魅力を伝えて、学生募集に繋げていく。
- ・コロナ禍でより一層デジタル化、感染予防対策が求められるが進んだ面とまだまだ手つかずの面と表面化してしまった。新校舎建築に向けてこうした改善点をいち早く着手し美容の多様化へのニューズも取り入れつつ対策していきたい。
- ・2年生への就職指導は感染状況を注視して、オンライン面接指導等、臨機応変に対処していく。
- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する。
- ・7月・8月高校廻り実施準備
- ・学園HP内容リニューアル準備業者に依頼し、進めている。
- ・ネット広告の検討開始。
- ・令和6年実施に向けて入試制度・特待生・指定校の見直し
- ・HPはいまだにスマートフォンに対応しておらず時代に乗れていない。
- ・トップページの新着情報も2月が最新となっており、問題点が多い。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・在校生満足度をあげるため、在校生にアンケートをとり効率よくやるべきである。
仮校舎に対して不満があるか→生徒の声に耳を傾け、職員で相談しながら改善していつている。
ネット系を活用していくべきである。難しい部分もあると思うが、他校の成功例をまねることも大切である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・募集において、ネット広告・インスタの強化は必須である。

今後の改善方法

- ・在校生個人のフォロワーが多いので、上手く活用していきたい。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9)・全職員が重点目標に対し理解を高めて、自己評価し問題解決に向かっている。

- ・定期的に自己評価委員会及び関係者委員会を実施し、定期的に自己評価を行い、随時公開していく。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10)・高齢化社会に合わせ、高齢の顧客へより良い対応ができるよう、『准福祉理美容師』資格を取得できるカリキュラムを編成している。

- ・廃品回収を積極的に行い、ペットボトルのキャップを回収しエコ活動に参加している。
- ・NHKヘアメイク体験、ナガコレ参加、中学生職場体験などを実施。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・NHK職場体験はとても良い経験になったはず。美容科とビューティビジネス科が協力し合えた点も良かった。今後も継続して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・社会貢献の一環として、サロンで使用しているヘアカラー剤のアルミ換金を実施している。リサイクル活動を推進している。
- ・パルセイロ長野の選手たちのヘアメイクをやってほしい。

今後の改善方法

- ・在校生にとって校外でのヘアメイク体験は学びの場であるため、今後も積極的に参加していく。

2. 重点目標について (別紙1・2参照)

(1) 令和3年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和3年度重点目標の実施状況の報告

① 教育活動 美容技術や人間力の向上

入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成

- ・礼儀を重んじ、人との出会いを大事にし、人の言葉や思いに寄り添える人材
- ・美容技術に興味や関心を持ち、挑戦しつづける人材
- ・職員研修により、職員の技術力や指導力の向上を行う

② 学生支援 学校生活の充実

感染防止対策を徹底して、工夫して環境を整え、在校生の満足度を上げる

- ・即実践に役立つような実りある授業内容
- ・旬の外部講師の講習
- ・新しいイベントの形を作り上げる
- ・一部の学生だけでなく多くの学生に幅広く挑戦する機会をつくる
- ・SNSなどで頻繁に発信することで、愛校心を育てたい
- ・個々の学生に的確な職員の関わり方や、就職活動、修学支援、カウンセリングなど情報を正確に伝えて支援していく

③ 学生募集 学校の魅力と美容の魅力を伝えていく

- ・オープンキャンパスの実施方法を充実させる
- ・HPのみではなくSNSの活用、インスタの工夫、ビューティタイムスの見直し
- ・学校の認知度を高め、地域へ浸透していく工夫をする
- ・在校生と共に魅力を伝える

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・仮校舎であるため、在校生満足度を上げることを軸とし、今後も引き続き、頑張っていきたい。今まで以上に教育に力を入れていく。

3. 次回予定

令和3年度第2回学校関係者評価委員会 令和4年2月25日（金） 10：30～